

## 守山市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 □放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

### ■ 目指す姿

地域学校協働活動にかかわるすべての人が、共通の目標をもって子どもの成長にかかわる共同体をつくる。

### ■ 本年度の具体的活動

- ・地域学校協働活動担当者会の開催(年3回 4月、9月、2月)
- ・地域学校協働活動担当者研修会の開催(12月)
- ・教育委員会担当者の定期的な訪問、懇談



【学校・公民館・所管課の担当者による打合せ】

### ■ 本年度の力点

市立小中学校全 13 校での取組開始から2年目となり、取組の方向性をより明確にし、各本部の取組状況の把握、各校・各公民館の担当者間の情報共有を高め、取組の推進につなげるようにした。

- ・各本部の取組計画の様式を共通化した。
- ・教育委員会所管課として状況把握に努め、状況に合わせた各本部への助言・支援を進めつつ、参考事例の共有を図るようにした。
- ・学校と公民館の連携強化のため、実践事例報告や協議の進め方を工夫し、課題の共有と効果的な取組展開につなげるようにした。
- ・研修会においては、他市の地域学校協働活動推進員の方から、地域と学校の連携を図るポイントを具体的に伺い、グループ協議も踏まえ各本部の取組の参考となるようにした。

#### 【成果】

- ・地域の方が学習等にかかわってくださることで、交流の広がりやつながりの深まり、児童生徒の主体性や学習意欲・関心の高まり、学びの深まり、丁寧な個別の支援につながってきている。
- ・小学校では、市内全9小学校で読み聞かせグループが活動されることとなり、それぞれ自立して活動を進めてくださるようになった。
- ・地域に向けた取組を継続することにより、取組についての地域での認知度や期待度に高まりが感じられるようになってきた。
- ・ボランティア等として活動される方が昨年度比 1.9 倍増となり、取組の広がりにつながってきている。児童生徒や学校にかかわることへの喜びの声も聞かれている。
- ・生徒が地域の活動に参加・参画することで、行事等に活気が出るなどの効果が聞かれ、生徒の意欲にもつながった。
- ・学校での校内研修や児童生徒の学習活動を通して、教職員が地域の歴史や伝統・文化、状況などについてより詳しく知る機会となってきた。

### ■ 課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

- ・現在までの取組は、支援者や連携先の拡大を中心に地域と学校の協働体制の強化が中心目的となっている傾向が強い。地域と学校が協働して子どもの資質や能力の育成を図るという趣旨に基づいて現状と課題を整理し、推進していく必要がある。
- ・各校教職員についても本事業への理解を一層深め、地域住民とともに、本事業の浸透を図っていく必要がある。
- ・取組の窓口となっている各校の地域連携担当教職員等と公民館の地域学校協働活動担当者(推進員)のコーディネート機能の向上のため、研修会や担当者会の工夫・充実を継続していきたい。

### ■ 地域学校協働活動推進員の委嘱状況

- ・本市では、地域学校協働活動推進員の委嘱を行わず、公民館職員が推進員としての職を担っている。

### ■ 域内の公立学校校園の学校運営協議会の導入状況および計画

- ・令和 10 年度の導入を目指して検討している。